

着

mono 通信

yoroduya

2023・11

vol.62



よろづ屋

着物・和のこと Salon

原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL: 0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL: 0246-85-5298

みなさまこんにちは！！暑い夏が終わり、秋の気配を感じる間もなく急に寒くなりましたね。夏の疲れが出て体調崩される方も多いのではないのでしょうか…皆様どうぞご愛くださいませ。

さて、今月はいわき店で年に一回の「秋のきもの総力祭」を駅前ラトブで開催いたします！！お客様に喜んでいただける様々な商品を、女将が自ら問屋に足を運び厳選して参りました！そして今回、DMIには掲載しておりませんが（内緒というわけではありません）55,000円均一の商品もご用意いたしました！中にはそんなお値段で出せない商品も多数ありますが、今回は少しでも多くのお客様に喜んでいただけるよう、ご用意させていただきました。また、当日は恒例の抽選会などもございますので、みなさまのご来場を心よりお待ちしております。着物を囲んで、大いに語り楽しむ時間をお客様と共に過ごしたいという思いで、スタッフ一同準備万端でお迎えいたします！！どうぞよろしくお願いたします！！

<あきない正傳(せいでん)金と銀 ドラマ化決定！>

以前にも皆様にご紹介した、私が大好きな小説「あきない正傳金と銀」がNHKのBS時代劇で放送されることになりました！！原作をまだ読まれてない方も楽しめる呉服屋が舞台の人情時代劇です！！世界も注目する日本の着物文化の神髄に迫る美の世界をぜひご覧ください！！



シリーズは全13巻ですが、面白くてあつという間に読んでしまいました。

【主演】小芝風花 × 【原作】高田郁 × 【脚本】山本むつみ
主人公・幸を演じるのは、小芝風花さん
原作は、「銀二貫」、「みをつくし料理帖」の高田郁さん
脚本は、「ゲゲゲの女房」、「八重の桜」、「小吉の女房」の山本むつみさん

【放送予定】
2023年12月8日(金)スタート <全8回>
[NHKBS・NHKBSP4K] 毎週金曜よる7時30分～8時13分(43分)

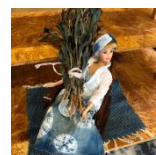
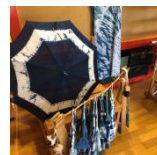
【あらすじ】主人公・幸(さち)は、木綿の産地摂津国(現大阪北中部あたり)の生まれ。元武士で商人を毛嫌する父に育てられます。兄と父が急死、母と妹・結を残し、大坂天満の呉服屋「五鈴屋(いすずや)」に女中奉公に入ります。「商いは邪道」と教えられていた幸ですが、五鈴屋の商いを目の当たりし、その面白さに心を奪われます。物の売れない時代、「商いの戦国時代」を生き抜くため、「買うての幸い、売っての幸せ」を追い求め、幸は全力であきないに向き合います。



8月に特別巻上が出版されました。全シリーズを制覇してからがオススメのオムニバスです。

藍染体験してみませんか？

日時: 11月24日(金) PM12:30～
場所: よろづ屋 原町本店
参加費: 2,500円(材料費込)
定員: 10名様まで



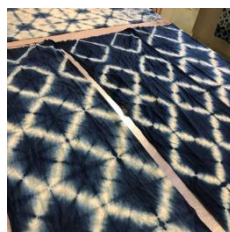
左の写真は林万妃江さんの作品です

11月24日(金)に原町本店にて藍染体験会を開催します。講師に藍染作家の林万妃江さんをお招きし、藍染でオリジナルの手拭を作る体験会です。初めての方でも気軽に参加いただけます。

どなたでも参加できます！ぜひご参加下さい！

世界で一つだけのオリジナルの手拭が作れます！

※当日は汚れても良い動きやすい服装でお出かけ下さい



※事前予約制とさせていただきます。申し込みは、お電話0244-24-2929まで。もしくはご来店ください。

< にっぽんの色と文様～その11 霜月編～ >

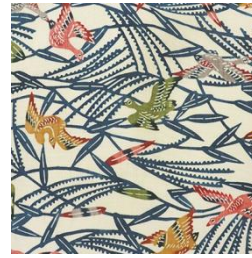
日本の自然や文化から生まれた伝統の色や文様について一緒に学びましょう！

冬に向かう11月は、温かみのある色を纏いたいですね。



紅葉色(もみじいろ)

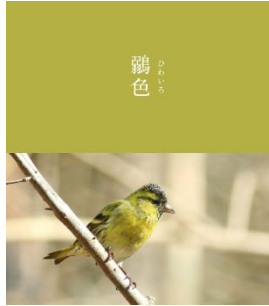
紅葉は植物学的には楓(かえで)の葉色の盛りを表現した言葉です。奈良時代の『万葉集』では「黄葉」と詠まれ、平安時代の『古今和歌集』では紅葉とされるなど、その色合いも時代とともに変化しました。



雁文 雁は秋を象徴する渡り鳥で、昔から武門の吉兆の鳥としててはやされ、戦国時代の真田家の家紋にも使われているほどです。集団で列を成し遠方から戻り帰る様子を援軍に見立てた縁起担ぎと思われれますが、その集団で飛ぶ姿が意匠としても美しく数多くの模様として、現代でも用いられています。

鶺鴒色(ひわいろ)

不思議な輝きを放つ色合いですね。蛍光的なその色は、どこか異世界を思わせるようです。色名は鶺鴒(ひわ)という鳥に由来し、平安時代には雅な小鳥として親しまれ『枕草子』にも登場しました。



鹿文 古代中国では、鹿は神の乗り物といわれ、聖なるものと信じられてきました。さらに、鹿が七福神の「福祿寿」の「祿」と発音が同じであることから吉祥文様とされ、長寿のシンボルにもなっています。日本でも鹿は延命長寿を表すといわれ、古くから絵画のモチーフなどに使われてきました。



松葉文 松葉は松文様(まつもんよう)の1つで、松の葉を散らした柄です。落ち葉になっても二本の葉の元がしっかりと繋がり、離れ離れになることがないということから夫婦円満の意味もある縁起物の柄です。

<きもの語 辞典> かの巻②

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で??に思うことも多々ありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

<鹿の子絞り(かのこしぼり)> 絞り染めの括り技法の一つで、指先で一目一目つまんで絞ります。絞り染めの最高級で、染め上がった文様が子鹿の背の斑点に似ていることからこの名称になりました。京鹿の子は京都で生産されたもので、「疋田(ひつた) 絞り」ともいいます。

<唐織り(からおり)> 織り出された色系の絵柄が刺繍のようにも見える織物で、「縫い取り織り」ともいいます。有職織物などの高級織り帯や、能装束などに用いられます。

<からむし織(からむしおり)> イラクサ科多年草であるからむし(苧麻)の繊維から取った麻織物。古代から受け継がれてきたからむし織は、吸湿性、速乾性に富み、夏衣に適しています。

<間道(かんどう)> 縞文様のある裂を指し、タテ縞、ヨコ縞、格子縞があります。「間」は混ざる、「道」は筋や島の意味で、外国からの渡来布に使われていた説があります。古くから茶人に好まれました。島原の名妓(めいぎ)・吉野太夫にちなんで「吉野間道」など名のある名物裂に数多くの間道があります。



今月のおススメ!

<おしゃれ草履>
M・Lサイズ
16,800円(税込)

今月のおススメ商品は、新入荷したおしゃれ草履です。物価高騰の昨今ですが、着物や和装小物にもその波が押し寄せてきております。素敵なお草履のお値段も、日々高騰するばかり。そこで女将が見つけてきました! お手頃価格のおしゃれ草履です! カジュアルなお着物からセミフォーマルなお着物まで使え、どんなお色味のお着物にもピッタリなおしゃれ草履です。台の色は、グレー、シルバー、ゴールドの3色に、女将が厳選した花緒をすげて作ったよろづ屋オリジナルといっても過言ではない草履です。花緒も博多織や花織、組紐、印伝など正絹の良質なものを選びました。同じ組み合わせの物は一つもない一点物となっております。そんなおしゃれ草履が16,800円(税込)となっております。お手頃価格のおしゃれ草履、自分にピッタリの一足をお選びください。

...女将のつぶやき...

気がつけば、今年も残すところあと2ヶ月...2023年もいよいよラストスパートになりました。この時期になると、もう来年の予定はどんどん入ってくるし、催事の企画も考えなくてはならないし、と頭が休まることはありません。さて、毎月当店で購読している「月刊アレコレ」vol.219の「わたしの推しモノ」というコーナーに私女将が登場いたしました。私が紹介した「モノ」それは、たかはしきもの工房の帯枕「空芯才」と「ピッタリ衿芯」です。私の毎日の着物生活に欠かせない、お気に入りの商品を全国の着物ユーザーに知っていただけて感激でございます。! 私の興奮状態のめっちゃめっちゃな文章をキレイにまとめて下さった「月刊アレコレ」の敏腕編集長さすがです!! 原町本店・いわき店にてぜひ読んでみてください。丸くりぬかれた私の顔写真付きでございます♪

